ひょうご花緑創造プラン改定に係る調査検討業務委託仕様書

1 適用範囲

本仕様書は「ひょうご花緑創造プラン改定に係る調査検討業務」（以下「本業務」という。）に適用する。

2 目的

兵庫県では、県民のゆたかな暮らしの実現に寄与するため、県民・団体・事業者・行政との参画と協働による花と緑の取組の方向性を示す計画として、平成28年6月に「ひょうご花緑創造プラン」（以下「現行プラン」という。）を策定し、花緑活動の推進に取り組んできた。

現行プランの最終年度が令和7年度であることから、花と緑をとりまく社会状況の変化や現行プランの進捗状況等について整理し、その結果を踏まえ、プランを改定する。

3 業務内容

(1) 現行プランのフォローアップ

現行プランにおける各目標・各指標の達成度評価に基づき、改定案の作成に向けて課題を整理する。

(2) 改定案の作成

現行プランの理念を継承しながら、花と緑を取り巻く現状や課題を踏まえ、県民、地域団体、民間事業者、行政など、多様な主体の参画・協働によって花と緑のまちづくりを推進するための行動指針となる改定案を作成する。改定案の作成にあたっては、以下に留意すること。

- ① 県民等による行動・取組の動機づけとなるよう、花緑の持つさまざまな機能・効果や社会的役割をわかりやすく提示すること。
- ② 理念、目標、推進施策等を検討するとともに、その進捗状況を計る評価指標を検討すること。
- ③ 下記内容を踏まえること。
 - ・ 上位計画及び関連計画（ひょうごビジョン 2050、まちづくり基本方針、県立都市公園の整備・管理運営基本計画（令和7年度改定予定）等）
 - ・ 県民まちなみ緑化事業（第4期）評価・検証報告書（案）
 - ・ 緑を取り巻く社会潮流（人口減少・高齢化、well-beingの向上、グリーンインフラの推進、気候変動対策、生物多様性の確保、改正都市緑地法など）

(3) 花緑検討小委員会の運営支援（想定4回）

プランの改定及び県民まちなみ緑化事業（第4期）評価・検証を行うために県が設置する「花緑検討小委員会」への出席及び説明資料の作成に協力する。

花緑検討小委員会は、令和7年6月、9月、12月、令和8年2月の4回を予定している。

(4) 報告書の作成

検討結果や作成した各種資料について報告書としてとりまとめる。

4 履行期間

契約の日から令和8年3月末日までとする。

ただし、改定案の作成は令和8年2月末日までとする。

5 業務の条件

業務報告書及び協議資料は、数値等の出典元及びその内容等を必ず記載して作成する。

6 成果品の提出

本業務の内容をとりまとめ、以下のとおり成果品として、履行期間までに県の指示に従って提出し、県の検査を受ける。

- (1) 改定プラン本編（A4判）及びプラン概要版（A4判1～4枚程度）
- (2) 報告書（A4判、縦型、横書き、左綴じ）
- (3) 上記(1)及び(2)の電子データ

7 その他

- (1) 業務の遂行に当たっては、県と定期的に打ち合わせを行い、綿密に連絡をとりながら進めること。
- (2) この仕様書に定めのない事項等において疑義が生じた場合は、必ず県と協議すること。
- (3) 業務の遂行上知り得た一切の秘密は、他に漏らしてはならない。
- (4) 提出された成果品に関する著作権および使用权等一切の権利は、県に帰属するものとする。
- (5) 県からの提供資料の内容、引渡し方法等については、契約後に県から詳細について指示する。